

つくし野中だより

第4号2023、6、16

校長挨拶

柳田 拓史

6月12日全校朝礼より

全校生徒の皆さん。おはようございます。

先日の体育祭、お疲れ様でした。一週間が経ちましたが、まだ皆さんの中には、その余韻を感じている人もいます。と同時に、試験一週間前を迎える今週は、気持ちが次へと切り替わる週かもしれません。

さて、今日は、ある弁護士さんのお話の一部を紹介しながら、「個人の尊重」ということについて、お話したいと思います。以下は弁護士さんのお話の抜粋です。

「個人の尊重」とは、一人ひとりを、かけがえのない存在として、大切にすることです。「一人ひとり」には、他者のみならず、自分も含まれます。だから、自分も大切にして、他者も大切にすることです。でも、現代社会において、自分と異なる考え方の人や、少数派の人々への理解が、不足しているように思います。どこか、多くの人々が、自分を守ることで精一杯で余裕がなく、他者に寛容であることが、難しい世の中であるような気がしています。

それでは、「人を人として大切にする」には、どのような心構えが必要でしょうか。

ひとつは、相手が大切にしているもの、考え方を知ろうとする「想像力」です。

もうひとつは、しっかりと相手の意見に耳を傾けることです。でも、これらのことは、普段の生活の中では、なかなか身に付けることが難しいものです。だからこそ、体験的な「教育」によって伝えていく必要があります。

どうでしょうか。先日の体育祭。トラックを無心に駆け抜ける姿があり、それを我がことのように応援する姿がありました。まるで校庭全体が、大きくうねるような歓声が、響き渡りました。体育祭は、身体を動かして表現する学校行事ですが、まさに一人ひとりが主役となり、皆さんの心が動いた瞬間だったのではないのでしょうか。

そこに至るまでには、長い練習期間や学級内での様々な苦労があったように、集団生活における毎日は、楽しく嬉しいことばかりではないかもしれません。

でも、つくし野中学校で学ぶ皆さんには、集団生活だからこそ、感じることの出来る「仲間の有難み」や「支え合い・励まし合い・認め合うことの意味」を味わってほしいのです。そして皆さんが、社会の一員として活躍するようになった時に、同じことを味わうことの出来る社会を、築いてほしいと思うのです。

この弁護士さんは、最後にこのように言っています。

「一人ひとりをかけがえのない存在として、大切にする社会」。それは、すなわち「個人の尊重」が人々の心に根付いた社会です。

私は、つくし野中学校が、個人の尊重の根付く学校として、これからも成長していくために、ここにいる皆さんと力を合わせ、知恵を絞りながら歩いていきたいと思えます。

さて、お話はここまでです。今日は最後に、皆さんにひとつ紹介したいものがあります。皆さんは、用務主事の山田さんという方を知っていますか？直接顔を合わせることは少ないので、知らない人が多いのかもしれませんが。先日、その山田さんが、校長室にもってきてくれたのが、この作品です。山田さんは、その時にこうおっしゃっていました。

「本当は、いつか、つくし野中学校を離れる時に、感謝を込めて贈らせてもらおうと思いましたが、昨今の様々なニュースや出来事を見ていると、少しでも早くこの作品をお贈りして、生徒さんの心が和んでくれたらと思ひ、今日お渡ししました。」とのことでした。

この作品には、本校の校章とつくしが描かれています。

私は、作品としての素晴らしさはもちろんですが、ここまでの山田さんの労力と、作品制作に賭ける思いを感じた時に、目頭が熱くなりました。この後、校舎内に掲示いたしますので、是非、近くで鑑賞してみてください。ちなみにこの作品は1019羽の小さな折り鶴で作られています。まさに千羽鶴です。繰り返しますが、製作者は用務主事の山田さんです。



体育祭

前日の金曜日に関東地方を襲った豪雨の影響により、体育祭が5日(月)に順延されましたが、晴天に恵まれて、実施することが出来ました。今年度のスローガン「翔・笑・勝～全員が主役～」の実現を目指しての一日は、種目を追うごとに、熱気と団結力の高まりが感じられました。

懸命に競技に向き合う姿、我がことのように応援する姿、そして運営に携わる係の真摯な姿勢。その全てが融合して「全員が主役」となった体育祭となったことを、誇りに思うと共に嬉しく思います。陽が傾いた夕方の閉会式。西陽を浴びる全校生徒の表情はまさに輝いていて、今日一日を仲間と共に過ごした充実感に溢れていました。

4年ぶりの通常開催ということで、ご来場いただいたご来賓、保護者、地域の皆様には、ご不便をおかけいたしました。最後まで、ご声援いただき感謝しております。

また、運営にご尽力いただきましたPTAご担当者様、父親の会の皆様におかれましては、平日開催にもかかわらず早朝から最後までお手伝いいただきましたことを、厚く御礼申し上げます。

全校生徒の皆さん、ご苦労様でした。



陶芸教室 (I組)

6月8日(木) 子どもセンター「ばあん」のアトリエをお借りして、館長さんにご指導をいただきながら、陶芸教室が実施されました。

今年は銘々皿の作成です。会場に到着すると、館長さんからの丁寧な説明があり、いよいよ作業が始まります。最初は慣れないお皿づくりに戸惑っていましたが、時間と共に要領をつかんだようで、次々に作品の原型が完成していきます。今日作った作品に、次回(29日)は色を塗る作業が待っています。最後に焼き上がった完成品が手元に届いた時は、さぞ感激だと思います。また、学校から会場までの往復の道中も、おしゃべりしながらの楽しいひと時でした。I組の絆がまたひとつ深まった気がした一日でした。お世話になりました子どもセンターばあんの職員の皆様には、感謝申し上げます。ありがとうございました。



頑張る教育実習生!

5月22日(月)~6月9日(金)までの3週間、3名の教育実習生が本校で実習を行いました。最初の全校朝礼での緊張感が伝わる挨拶から日一日と、つく中生と慣れ親しんでいく様子がわかりました。授業はもとより、部活動でも一緒に活動する姿があり、体育祭ではクラスと一緒に頑張って応援したり、喜んだり、悔しがったりする姿がありました。最後の研究授業では、実習生も精一杯の準備をして授業に臨みましたが、クラスみんなが実習生を応援しながら授業に参加している様子が、とても微笑ましくまた、温かく感じられました。

実習生は、来週からは、各大学に戻り、皆さんと同様に授業を受ける学生に戻りますが、きっとこの3週間の経験は、それぞれの今後の人生や生き方に大きな影響を与えるのではないかと思います。

温かく迎え、そして優しく送り出してくれたつく中生の皆さんに、心より感謝します。そして3名の実習生のこれからの幸せを願っています。



頑張るつく中生

それぞれの秋に向けて(2, 3年生)

第 54 回町田市青少年の日スポーツ大会
バドミントン中学女子 優勝

山野 花奈・橋本 もこ

令和 5 年度町田市中学校バドミントン
選手権大会

女子団体 第三位

山野 花奈・橋本 もこ・松村 心春

長澤 瑠依・片倉 理奈・山本友利香

佐藤 佑衣・松崎柚己葉

第 39 回町田市剣道連盟剣道大会

中学生女子の部 準優勝

佐藤 寧々

中学生女子の部 敢闘賞

雲切 結愛

2 年生

9 月 8 日 (金) 東京都内校外学習

テーマ「自律と協働」

スローガン「一期一会」

1 年生時のフィールドアスレチックス、スキー移動教室を踏まえた充実した校外学習を目指して、準備中です。

3 年生

9 月 15 日(金)～17 日(日) 修学旅行

スローガン

最輝 ～進んで学び考えを深め

正真正銘の赤学年へ～

学年目標「進化・深化・真価」の実現に向けて、校外学習の集大成に向けての最終準備に、学年一丸となって取り組んでいます。

7 月行事予定表

3 日 (月) 一斉委員会、学校公開週間始

4 日 (火) SOS の出し方に関する教室 (1 年生)

6 日 (木) 保護者会 (1 年生)

7 日 (金) 保護者会 (2 年生)、学校公開週間終

10 日 (月) 修学旅行保護者説明会 (3 年生)、午前授業

11 日 (火) 午前授業、心のアンケート

14 日 (金) 避難訓練

15 日 (土) 学校公開、道徳授業地区公開講座

17 日 (月) 海の日

19 日 (水) 学年集会 (1, 2 年生)、大掃除、ワックスデー

20 日 (木) 終業式、安全指導、学年集会 (3 年生)

21 日 (金) 夏季休業日始

24 日 (月) 教育相談始、連合音楽会 (吹奏楽) 町田市民ホール

31 日 (月) 教育相談終